

交通心理学および交通心理士会の皆様へ

内閣府の令和3年交通安全白書を見ると令和2年中の交通事故死者数は状態別で歩行中（1,002人、構成率35.6%）が最も多く、自動車乗車中（882人、構成率31.1%）を超えています。そして歩行者の交通事故死者数の割合は欧米諸国に比べて日本はかなり高い割合を占めています（スウェーデン10.5%、ドイツ14%、フランス14.5%、イギリス25.7%に対して日本は35.6%）。歩行者の事故類型別死者数は**横断中の事故が最も多く**、ここ10年間の平均を見ても70%前後です。交通心理学を学ぶ私たちにとってドライバーと共に歩行者の教育が急務と思われれます。

このような現状を深刻に受け止めて、自動車工業会では歩行者事故防止のためにコーチングを用いた教育プログラムを作りました（わたくし太田との共同開発です）ので会員の皆様にご紹介いたします。ぜひご利用いただければ幸いです。

本教育プログラムはフリープログラムですので、どなたでも手引書、動画、ワークシートがそのまま無料で自由に使えます。もちろん営利目的でも使用可能です。使用料は一切かかりませんのでぜひ歩行者やドライバーの安全教育にお使いいただければ幸いです。ただし、ご使用の際は自工会の坂主様*あてに使用年月日、教育対象者、簡単な受講者の反応などを教えていただくと幸いです。使っていただけたことがわかると私共の励みになります。 *坂主様のメールアドレス：yoshimi_sakanushi@mail.toyota.co.jp

以下のURLから教育の進め方や教材が得られます。

「横断歩行者保護：交通安全コーチングの進め方」

↓こちらが自工会発信でのYouTubeリンクです。

<https://youtu.be/aV4uLkAABhg>

教育プログラムは以下のURLから得られます。

<https://www.jama.or.jp/operation/safety/pedestrian2023/>

なお、先に開発した高齢ドライバーのための「いきいき運転講座」もフリーソフトとしてご利用できます。URLから教材をお探しください。太田担当の「ミラーリング法」を応用した教育プログラムは10章、11章、12章（自分の運転を振り返る1～3）です。合わせてご紹介させていただきます。

https://www.jama.or.jp/operation/safety/safety_action/elderly_driver.html